

【情報公開文書】

2022年5月19日作成

Ver.1.2

研究課題名	長崎における大腸癌術後補助化学療法の最適化を目指すための観察研究 Observation study to aim optimal adjuvant chemotherapy for colorectal cancer in Nagasaki
所属（診療科等）	長崎大学病院 大腸・肛門外科
研究責任者	小林 和真（病院講師）
研究分担者	長崎大学病院 肝胆膵外科・肝移植外科 松隈 国仁（医員）
研究機関	この研究は長崎大学病院のみで実施します。
研究期間	2020年9月15日～2029年12月31日
研究目的と意義	本研究は研究対象者のカルテ情報を用いて、大腸癌術後補助化学療法に対する治療効果や有害事象の発現率を解析するものです。特に高齢者と若年者（70歳以上/以下）の比較を行う予定です。本研究を行うことで、QOLを保って再発のない生活を長くおくための戦略を立てるのに役立ちます。特に、高齢化率が全国平均よりも高い長崎でのデータは、高齢化が進行した場合における大腸癌術後補助化学療法についての示唆を与えることになる事が期待されます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 切除不能進行・再発大腸癌の患者さんで2012年12月1日から2023年12月31日までに長崎大学病院大腸・肛門外科で手術が行われた大腸癌の患者さん（術後化学療法を受けなかった方も含む）。</p> <p>●利用する情報 患者背景：性別、年齢、ECOG-PS、原発巣、手術日と手術内容、病理所見（組織型, stage 判定のため） 臨床検査 感染症 腫瘍マーカー 画像検査：造影の胸部～骨盤部CT（原則造影で） 有害事象 検査の詳細が知りたい方は、研究責任者にご連絡下さい</p> <p>●研究の概要・方法 上記のカルテ情報を用いて、レジメン別の有効性や治療の完遂率や有害事象について高齢者と若年者（70歳以上/以下）の比較を行いつつ、検討します。</p>
問い合わせ先	【研究担当者】

<p>氏名：小林 和真（医師）、松隈 国仁（医師） 長崎大学大学院 移植・消化器外科 住所：長崎県 長崎市 坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095-819-7200（代表） 095-819-7316（移植・消化器外科 医局） 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>
